

事業番号	07 05 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	信州地酒振興事業	部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室
		実施期間	H14 ～	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係					
政策の柱	創造的で強靱な産業を育てる				

1 現状と課題

・酒類の多様化により、日本酒の消費は長期的な減少傾向(S50 41,206kL⇒R2 9,350kL)が続き、酒蔵の生産意欲が低下。
 ・ワイン、シードル産業等への新規参入が相次いでおり(ワイナリー数：H25.3 25場⇒R3.8 69場)、品質の安定的な確保に向けた取組が必要。
 ・コロナ禍の長期化により、酒類全体の出荷量が低迷、長期的な消費や新たな市場の獲得につながる取組が求められている。

2 事業目的

県産日本酒やワイン等の品質向上やPRにより、信州地酒のブランド化、認知度向上を図り、信州地酒産業の活性化を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

① 県産酒類のブランド化及び発信、消費の拡大

- ・県産酒類のブランド力向上のため、長野県原産地呼称管理制度(NAC)及び酒類の地理的表示「長野」(GI長野)による認定を実施
- ・県産日本酒及びワインの魅力を発信するため、冊子を作成（日本酒、ワイン）するとともにウェブでの発信（ワイン）を実施
- ・県産酒類の国際的知名度を向上するため、国際コンクールへの出品を支援
- ・信州ワインバレー構想の実現に向けて、関係機関連携によるワイン産地の形成に向けた取組を実施
- ・多様な県産酒類の販路拡大・消費を促進するため、県内外での魅力発信・消費拡大に向けたイベントの開催

② 県産日本酒の品質向上に向けた取組

- ・全国新酒鑑評会の金賞受賞数No.1を目指すため、蔵元の技術向上を図るための分析、蔵元指導を実施
- ・純米酒の醸造技術を向上させるための研修会を実施

③ 県産ワイン及びシードルの品質向上に向けた取組

- ・県内醸造者の技術向上を図るため、全国の先進的な生産者等を招聘した研修会を実施
- ・県内醸造メーカーに対する技術指導を実施するため、工業技術総合センターに分析機器を導入
- ・ワイン、シードルの参入希望者の醸造技術の向上を図るため、里親ワイナリーでの研修を実施



4 成果指標

(推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①	NAC及びGI長野による認定品数	品	233	276	↑	320	↑	336	令和5年度は、GI長野による日本酒とワインの出品数の増加を見込み、前年比+5%の336品の認定を見込む
②	全国新酒鑑評会での純米酒入賞数	場	16	13	↓	18	↑	18	令和4年度の当該鑑評会における県内蔵元の出品56蔵のうち、3割以上の入賞を見込む
③	日本ワインコンクール入賞数	品	中止	中止	—	70	—	75	令和4年度の出品数140品のうち入賞数70品。指導体制の向上による品質の向上で、前年比+6%の75品入賞を見込む

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)				0		3.5
	(要求)		35,607		35,607	25,040	
R4年度	118,508	33,126	98,000	249,634	26,357		3.5
R3年度	0	36,329	304,940	341,269	28,771	230,877	4.0

事業番号	07 05 01	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	信州地酒振興事業		部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	長野県原産地呼称管理制度運営事業	7,056 千円	6,171 千円	(予算案) (要求) 6,091 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県原産地呼称管理委員会運営費	負担金	長野県原産地呼称管理制度及び酒類の地理的表示「長野」（GI長野）の認定審査及びPR活動の実施 認定審査の開催（日本酒・焼酎：4回、ワイン・シードル：4回、米：1回）		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	信州日本酒No.1プロジェクト事業	12,638 千円	12,099 千円	(予算案) (要求) 12,504 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	純米酒醸造技術向上指導事業	委託	醸造専門家による全国新酒鑑評会受賞酒の酒質解析、全国新酒鑑評会出品酒用の原料分析等を外部委託【想定委託先：長野県酒造組合】 酒質分析件数：20件		
2	県産米の純米酒醸造研究事業	直接	県内酒蔵が、県産酒造好適米の特性を踏まえた醸造を行えるよう純米酒製造工程の研究を行うとともに、醸造者を対象とした技術指導研修会を開催 研修会の開催：計2回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	信州日本酒PR事業	1,421 千円	900 千円	(予算案) (要求) 650 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	日本酒PR冊子の作成	直接	信州日本酒の特徴である県産酒造好適米やG I 長野の内容を掲載した日本酒ブックレットを作成 印刷予定：9,420冊		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
4	信州ワインバレー構想推進事業	311 千円	256 千円	(予算案) (要求) 400 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州ワインバレー構想推進協議会運営費	負担金	「次期信州ワインバレー構想（仮）」PR冊子の作成。協議会総会における有識者の招聘等 冊子印刷（本冊）500冊、（PR版）800冊		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	ワイン・シードル醸造技術支援事業	2,671 千円	2,293 千円	(予算案) (要求) 2,009 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	里親ワイナリー研修	直接	ワイナリー及びサイダリーの新規開業希望者等を対象とした生産者の下における研修機会の創出 里親ワイナリー登録数:19場	
2	醸造技術等向上に向けた研修会の開催	直接	国内先進地の技術者等を招聘し、県内ワイナリー・サイダリーの醸造技術等の向上に向けた研修会を実施する。 醸造技術研修会:5回	
3	揮発酸分析器の導入	直接	県内ワイナリー・サイダリーが自ら理化学検査を行えるよう、工業技術総合センター職員による指導及び研修を実施するための装置を導入する。 本機器を用いた研修会:1回、個別相談:5件	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
6	NAGANO WINEブランド発信事業	6,196 千円	6,099 千円	(予算案) (要求) 6,377 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	事業者団体によるNAGANO WINEのPR実施にかかる支援	補助金	長野県ワイン協会によるNAGANO WINEのPR・需要喚起イベントの支援 県内または県外におけるリアルイベントの開催:1回	
2	NAGANO WINEの総合的な発信	委託	NAGANO WINE公式HPによる掲載情報の充実及び冊子の改訂・印刷 冊子印刷数:5,000冊	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
7	信州地酒消費促進事業	6,036 千円	5,308 千円	(予算案) (要求) 7,576 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	県内各地における県産酒類を统一的にPRし販路を拡大する機会の創出	委託	県内4か所における県産酒類PRイベントの実施 開催箇所:4箇所	
2	信州カンパイFES開催への協力	負担金	信州カンパイFES実行委員会への負担金 イベントの開催:1回	
3	国際コンクールへの出品支援	補助金	県内酒類製造事業者が販路拡大等を目的として出品する国際コンクールへの出品費用を助成 補助金活用件数:12件	